2017－2018年度

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

四つのテスト

言行はこれに照らしてから
１・真実かどうか
２・みんなに公平か
３・好意と友情を深めるか
４・みんなのためになるかどうか

第2207回　家族例会 2018年6月20日（水）

■国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー
■第2790地区ガバナー　寺嶋 哲生
■第12分区ガバナー補佐　安蒜俊雄
■松戸北ロータリークラブ会長　平田　洋一
■松戸北ロータリークラブ幹事 大川　高明
■例会日－ 毎週水曜日12：30より（第1例会18：30）
■例会場－ 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
■事務所－ 松戸市八ヶ崎1-11-13　ｻﾝﾗｲｽﾞﾊｲﾂ101
■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

＜第2207回：例会プログラム＞

18:30	点鐘	平田洋一会長
	ロータリーソング斉唱 【♪君が代　♪奉仕の理想】	
	お客様紹介	髙橋一彦会長エレクト
	会長挨拶	平田洋一会長
	幹事報告	大川髙明幹事
	本年度会長・幹事に記念品贈呈	
	次年度会長挨拶	髙橋一彦会長エレクト
	次年度幹事挨拶	小澤直之次年度幹事
18:55	点鐘	平田洋一会長
19:00	懇親会	

＜会長挨拶・報告：平田洋一会長＞

みなさんこんばんは
本日は、恒例となっております「夜間家族例会」です。ご家族の皆様におかれましては普段のロータリー活動に対し御理解と御支援を賜りまして、この場をお借りし御協力に感謝申し上げます。（”1年間、ご協力ありがとうございました”）
さて、本年度を振返りますと、新たな奉仕に向けて「楽しい例会作り」を目指してまいりました。楽しい例会とはなんだろう？と私なりに考えた結果、歴史ある松戸北ロータリークラブでやった事のない新たなチャレンジをしていくことが楽しさに繋がるのではないかと思いました。そこで「松戸西ロータリークラブとの合同例会」では、より多くのロータリアンとの親睦と情報共有をテーマに元プロ野球選手(上園啓史氏)を招待しての合同例会を行いました。正司親睦委員長・小澤直之プログラム委員長お二方のお力と委員のみなさまのご協力により大成功に終わり、実りある会になったのではないかと思います。
また、北クラブでは米山梅吉記念館に行ったことが無いとの事でしたので渡辺米山記念奨学会委員長のお力を借りて多くの参加者と共に米山梅吉記念館に伺う事ができました。ロータリークラブを日本で初めて設立した、私たちの活動の原点とも言える人物を訪ねたことは大きな収穫になりました。
最後に今年度メーンイベントの４５周年記念では、寺川実行委員長、崎谷総務委員長が各委員会を引っ張って下さり、大成功を収めることができました。歴史ある北クラブの節目となる大事な会でしたので無事に終えることができホッとしました。ご協力、本当にありがとうございました。
さて、私について振り返りますと、１０年前にゲストとして高橋会長エレクトと同じ日にクリスマス家族例会に参加したことがロータリー活動を始めるきっかけでした。
元々松戸出身ながら松戸の事を何も知らなかったため、小林弘会員にお誘いいただいて小菅会長年度に入会しました。私のいいかげんな性格もあり、入会当初はロータリークラブという組織があまりにもしっかりしていて正直、窮屈さを感じていましたが、北クラブの「ゴルフ同好会」に誘って頂いたことが契機になり皆様との距離が縮まっていきました。
また、2017-2018年度のスタート前半は、ロータリーに対する理解が浅いことを痛感し、自分の未熟さから会長職を逃げ出したい気持ちになることが多くありました。しかし、会長として選んでいただいたからには自分なりに全うしなければ、という想いもあり、森谷直前会長に嫌がられるほど（ロータリーの基本）を確認し、勉強してまいりました。森谷直前会長にはお忙しい中、お付き合い頂き誠にありがとうございました。
個人的に会長をやらせていただいて良かった事のひとつに、プレッシャーに少し強くなったことが挙げられます。私は8年前からゴルフのイップスに悩まされていました。イップスというのは自分の思ったように身体が動かなくなるスポーツ障害です。私の場合、ドライバーを振り下ろすことが困難で、長い間ゴルフが苦痛でした。しかし、ゴルフのプレッシャーより今年度の大役である会長職のプレッシャーが上回ったのか？昨年8月よりピタッとイップスが無くなりました。これは私にとって思わぬ収穫でした。

WEEKLY REPORT

＜懇親会＞

社会奉仕基金154,000円　《会報編集委員》沖昌彦・長島 正巳・髙橋修・野澤新之助

＜次年度幹事挨拶：小澤直之次年度幹事＞

このたび　次年度幹事を仰せつかりました小澤でございます。
まず、平田会長、大川幹事　1年間大変ご苦労様でした。
私、まだまだ若輩かつ未熟ではございますが、しっかり引き継いでいきたいと思います
　この北クラブと出会ったのは、平成26年12月のクリスマス例会に森谷会員の紹介でオブザーバーとして参加した時が最初でした。
あれから3年と6ヶ月経ちましたが、その当時はまさかこの場で次年度幹事の挨拶をする事は全く想像もつきませんでした。
正直、ロータリーの事もクラブ内の事も理解出来てない部分も多々あります。
ましてや次年度は分区でのホストクラブという位置で色々と不安要素もございますが、ご指名いただいた以上は学習しながらでもしっかりと努めさせていただきます。
幸い、当クラブ頼りになる先輩方が多くいらっしゃいますので、遠慮無くお知恵をお借りして、高橋一彦会長の右腕としてしっかりサポートしていければと考えております。
一年間頑張りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

＜本年度会長・幹事へ記念品贈呈＞

＜懇親会＞

WEEKLY REPORT

その他歴代の会長職を終了するとプレッシャーからか？髪の毛の変化が見られていましたが、私にはそれはなさそうですがこの後ですかね？
最後に、会長を務めて最もよかったことはロータリーをより深く理解できたことです。この一年で私にとってのロータリーの景色が変わりました。「奉仕の理想」を追求する事と自己研鑽に努めることを通じ、ひとりの人間として経営者として多くのことを勉強させて頂きました。
最後に、大川高明幹事には一番ご苦労をおかけしました。年上にもかかわらず、文句を言わずに、温かく私のホローをしていただき、大変感謝しております。
私としましては、今年度一年、伝統ある「松戸北ロータリークラブ」の皆さまの中に少しでも「楽しい例会だった」と思っていただける会員がいたなら幸いです。”
次年度は「まじめな高橋会長といい加減な小澤幹事」の強力なリーダーシップで新たな奉仕活動が展開されます事を期待いたします。
結びとなりますが、ロータリーの「楽しさ・面白さ」から親睦が生まれ、親睦がそれぞれの仕事に結びつき、その利益から奉仕が生まれる。そのような良い循環の輪がこの松戸北ロータリークラブにおいて自然に生まれることを願っています。
以上会長あいさつとさせて頂きます。

＜幹事報告：大川高明幹事＞

皆さんこんばんは。
今年度幹事を務めました大川です。1年間あっという間に過ぎました。
この1年間、会員の皆様にはいろいろとご協力いただきありがとうございました。反省点は多々ございますが会長・幹事一生懸命務めたつもりです。
特に会長は公私ともに忙しい中、例会に休まず、すべて参加しました。皆勤賞です。
幹事の仕事については細かい仕事が数多くありましたが、事務局の足立さんの協力で無事に、すべて完了しております。足立さん協力ありがとうございました。
今年度はいろいろ学びましたが、まだまだ不十分だとは思います。今後もロータリーについて学んでいきたいと思いますのでご指導よろしくお願い致します。
最後に5年前、サラリーマン生活35年を終えて暇を持て余していた私をロータリーに誘っていただいた、石井さん、崎谷さんに感謝し幹事の挨拶とさせていただきます。

＜次年度会長挨拶：髙橋一彦会長エレクト＞

来月7月より2018－19年度会長を拝命いたします髙橋一彦でございます。
後に登壇します小澤直之会員を幹事に迎え松戸北ロータリークラブの舵取り役として一年間務めさせて頂きますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。
本日は6月の家族例会でありますので、ロータリー年度末であり、納会・引き継ぎの意味がございますので次年度事業へのお願いとしてお時間を頂きます。
さて、次年度国際ロータリー・バリーラシン会長は『インスピレーション』をテーマに掲げ閃きよりの新展開を推奨しており、地区代表・橋岡久太郎ガバナーも『伝統と未来』と提唱されました。
よって、我がクラブとしても温故知新を基に、当クラブの永き良き伝統を温め新しき事を得る為に『クラブを見詰め直し新発想に繋ごう』をクラブテーマとして各委員会が活動する事を目的に行動して参ります。近年、若年会員も増え、クラブ内がさらに明るさを増したよう感じておりますので、このタイミングで諸先輩方の経験豊富な知識を融合できれば、さらに良質クラブになる事に間違いは無いと考えました。会員皆様に意味ある会合として例会を初め、随所に参加して頂けるよう努力させて頂きますのでクラブへの参加、宜しくお願い致します。
また、次年度は松戸5クラブでのホストクラブ（当番クラブ）となります。
我がクラブより野村充会員にアシスタントガバナーとして13グループ代表をお勤め頂き、森谷充伯会員にはそのサポートとしてご協力を頂戴する運びとなっております。
当番クラブとして、いつも以上に会員皆様の貴重なお時間よりお力添えを求めなければなりませんので、令夫人ならびご家族の皆様には尚一層のロータリー活動へのご理解を頂くこと、心よりお願い申し上げます。
以上、壇上からとなりますが次年度を代表し、お願いを挨拶に変えさせて頂きます。
2018－19年度の活動に、ご協力宜しくお願い申し上げます。